

Artist
Release Notes

8.5.4

日本語版

目次

1	含まれるコンポーネント	3
2	要旨	3
3	Artist & Director での新規	4
4	バグ修正, 性能と安定性の改善	5
5	Trunk Navigator での新規	6
6	RRCS での新規	7
7	追加情報	9



© 2024 Riedel Communications GmbH & Co KG.

All rights reserved. Under the copyright laws, this manual may not be copied, in whole or in part, without the written consent of Riedel. Every effort has been made to ensure that the information in this manual is accurate. Riedel is not responsible for printing or clerical errors. All trademarks are the property of their respective owners.

1 含まれるコンポーネント

コンポーネント	8.5.1	8.5.2	8.5.3	8.5.4
Director	8.5.D1	8.5.D2		
Artist-32/64/128 CPU	8.5.N1	-		
Artist-32/64/128 Client Card	8.5.C1	8.5.C2	-	8.5.C3
Artist-1024 Frame	1.2.1	-		
Artist-1024 UIC	8.5.U1	8.5.U2	-	8.5.U3
Trunk Navigator	8.5.TN1	-		
SNMP Agent	8.5.NM1	-		
RRCs	8.5.RR1	8.5.RR2	8.5.RR3	

2 要旨

- UIC-128-II での Dante サポート
- トランク機構の強化
- SmartPanel 向けのユーザー・インターフェイスの改善
- リモート・キー・コマンド内のレバー・キーの上押し

3 Artist & Director での新規

UIC-128-II での Dante

Artist-1024 と Director は UIC-128-II 上の Dante をサポートするようになりました。
UIC-128-II にはファームウェア・バージョン 8.3 以上が必要です。

トランク機構の強化

Artist, Director, Trunk Navigator は、大規模なトランク・システムの性能と拡張性を向上させる強化されたトランク機構をサポートするようになりました。

リモート・キー・コマンド内のレバー・キーの上押し

Artist と Director はリモート・キー・コマンド内でレバー・キーの上押しをサポートするようになりました。

SmartPanel 上の恒常的なボリューム・バー

Artist-1024 と Director は Artist-1024 に接続した SmartPanel について、動的あるいは恒常的なボリューム・バーの選択をサポートするようになりました。

SmartPanel での強調された入力コール通知

Artist と Director は 1200 シリーズ SmartPanel について、入力コール通知としての点滅を停止できるようになりました。

SmartPanel 上での使用中表示

Artist-1024 と Director は Artist-1024 に接続した SmartPanel について、「In-Use indication」をサポートするようになりました。

トランク接続した 1000 個のグループとカンファレンス

Artist-1024 と Director はトランク接続した 1000 個のグループとカンファレンスをサポートするようになりました。

セル編集を介してのトランク稼働

Director はプロパティ・ウィンドウを開くことなく、トランキングのためのポートをポートリスト内で直接稼働できるようになりました。これを行うにはトランキング対象のアドレスを 0 ではない値に設定しておく必要があります。

キー上のホバー・ダイアログ内の追加情報

Director はキー上のホバー・ダイアログ内にデュプレックス・コールの追加情報を表示するようになりました。

ポートリスト内にエイリアスをペーストする

Director はポートリスト内にエイリアス・ラベルをペーストできるようになりました。

ネット・プロパティ内のオーディオパッチ

Director はネット・プロパティ内でヘッドセット A/B のプリアンプを設定できるようになりました。

ネット・プロパティ内の Bolero のマルチキャスト・レンジ

Director はネット・プロパティ（ポート設定）内で、Bolero ベルトパックのマルチキャスト・レンジの事前定義をサポートするようになりました。

Director のログ・メッセージの強化

Director は低レベルの通信障害について改善されたロギングをサポートするようになりました。

4 バグ修正, 性能と安定性の向上

- Director が NIC ではなく SIC に接続されている場合に、誤ったアラームを生成する問題は修正されました。
- Director のツールチップがバーチャル・キー上にラジオボタン・グループを表示しない問題は修正されました。
- 大規模な設定変更後に、まれに VoIP カードがブート・ループに陥ることがある問題は修正されました。
- ナビゲーション・バーの Trunking タブに 4 ワイヤ・ポートが表示されない問題は修正されました。
- Miscellaneous 設定の「Automatically adjust speaker dim and key mode」が有効になっている場合、キー・モードの動作が一定にならない問題は修正されました (Director マニュアルの § 4.1.4.5 「Options - Miscellaneous」を参照)。
- トランク接続されたデュプレックス・コールで、通話または受話リクエストのどちらかが失敗した後にキャンセルできない問題は修正されました。
- 1024 を超えるトランク・コールまたはリスンが構成されている場合に、まれに構成の解析に失敗することがある問題は修正されました。
- 非常に大規模な Artist ファイバー・リングの設定で、下流方向のオフライン・アラームが誤って表示される問題は修正されました。
- 設定の解析に失敗しても Director に設定エラーが表示されない問題は修正されました。
- 2022-7 経由で接続された SmartPanel が、あるインターフェイス上のマトリクスからは到達できないけれども、そのインターフェイス上の AES67 ストリームの送信が停止されない問題は修正されました。

4.1 Artist-1024 UIC 8.5.U2

- ST2022-7 経由で接続された 1200 シリーズ SmartPanel が、SIC 起動処理中にメディア・インターフェイスの 1 つが切断された場合は、Artist-1024 に接続できない問題は修正されました。
- Trunk Navigator が、IFB の入出力として使われるプール・ポートをルーティングできない問題は修正されました。
- 1 つの Bolero キーに複数の機能をスタックすると、Bolero の音声レベルが変化し続ける問題は修正されました。
- NIC が過負荷になると SIC とポートがオフラインになる問題は修正されました。
- 多数のパネルが接続されている場合の SIC の起動動作が強化されました。

4.2 Artist-32/63/128 8.5.C2

- Artist-32/64/128 に接続したポートの「Route Audio」コマンドで音量を変更できない不具合は修正されました。
- Artist-32/64/128 に接続した 1200 シリーズ SmartPanel のキー・バンク 1 でキー・バンクのカラーが動作しない不具合は修正されました。

4.3 8.5.D2

- 「Route Audio」コマンドで 2 つ目のチャンネルを設定できない問題は修正されました。
- パネル・キーのトランク接続されたコールで、ユーザー権限が一貫して動作しない問題は修正されました。

4.4 Artist-32/64/128 8.5.C3

- まれに、設定の変更後にバーチャル・キー上でカンファレンスへの通話が開始される問題は修正されました。

4.5 Artist-1024 UIC 8.5.U3

- 非常に大規模かつ負荷の高いシステムの 1200 シリーズ SmartPanel にて、キーを押したときに遅延が発生する問題は修正されました。

5 Trunk Navigator での新規

トランク機構の強化

Trunk Navigator は、大規模なトランク・システムの性能と拡張性を向上させる強化されたトランク機構をサポートするようになりました。

アルファベット順の並べ替え

Trunk Navigator は、IFB、ポート、グループ、カンファレンスのアルファベット順のソートをサポートするようになりました。

バグ修正、性能と安定性の向上

- ・ トランク接続された IFB 音声は聞こえるが、すべてのパネル・キーがミュートされる問題は修正されました。
- ・ キーがアクティブになったときに間違ったラベルが Reply キーに表示される問題は修正されました。

6 RRCS での新規

ConfigurationChangeEx, BufferConfigurationChangeEx および ApplyConfigurationChangeEx

RRCS は、新たに導入された API、リクエスト全体を中止することなくコンフィギュレーション変更操作を見捨てる機構、をサポートするようになりました。大規模なコンフィギュレーション変更は、ドライバーによる再適用不要で実行できます。

Dante のサポート

RRCS は UIC-128-II 上で Dante の生成と設定をサポートするようになりました。

フォーマットの拡張

RRCS は「text/xml; charset = utf-8」フォーマットを受容するようになりました。

DeletePort コマンド

RRCS は DeletePort コマンドをサポートするようになりました。

恒常的なボリューム・バー

RRCS は Artist-1024 に接続した SmartPanel について、動的あるいは恒常的なボリューム・バーを設定できるようになりました。

入力コール通知

RRCS は入力コール通知動作を設定できるようになりました。

ResetAllNodes

RRCS は全ノードを ResetAllNodes API でリセットするようになりました。

GetAllIFB

RRCS は設定済みの全 IFB の全プロパティ（例えば「DimLevel」や「Is Trunk-Enabled」）を返す GetAllIFB API をサポートするようになりました。

GetAllConferences

RRCS は設定済みの全カンファレンスの全プロパティを返す GetAllConferences API をサポートするようになりました。

GetAllGroups

RRCS は設定済み全グループの全プロパティを返す GetAllGroups API をサポートするようになりました。

重複したコマンドに対する ForceFail フラグ

RRCS はコマンドを作成する際の ForceFailFlag をサポートするようになりました。これは重複したコマンドをドライバーがエラーもしくは成功として扱うようにコントロールをそのままにします。いずれの場合も重複したコマンドは作成されません。

GetKeyConfiguration および GetAllKeyConfiguration

RRCS は GetKeyConfiguration と GetAllKeyConfiguration をサポートするようになりました。

ネット名の変更

RRCS は SetNetName および GetNetName でネット名の変更および取得をサポートするようになりました。

リモート・キー・コマンドのレバー・キー上押し

RRCS はリモート・キー・コマンドでレバー・キーの上押しに対応しました。

6.1 8.5.RR2

バグ修正, 性能と安定性の向上

- ・ 特定の範囲に制限された整数値を設定すると RRCS がクラッシュする問題は修正されました.
- ・ コマンド内のカンファレンス ID が変更されると, RRCS ConfigChangeEx API がエラーを返す問題は修正されました.

6.2 8.5.RR3

バグ修正, 性能と安定性の向上

- ・ IFB 入出力 / ミックスマイナスをクリアできないという問題は修正されました.
- ・ NMOS ストリームの場合に AES67 入力チャンネル選択を変更できないという問題は修正されました.

7 追加情報

8.5 でのスナップショット

Artist 8.5 以前に作成された Artist-32/64/128 のスナップショットは、Artist 8.5 へのアップデート時に再利用することができません。そのため、スナップショットは再作成する必要があります。

バグ修正とソフトウェアのサポート

最高の性能とユーザー・エクスペリエンスを得るために、最新ファームウェア・リリースにアップデートすることを強くお勧めします。バグ修正は直近の2つのマイナー・ファームウェア・リリースに対してのみ提供されることにご注意ください。

Artist システムの全コンポーネントのアップデートと移動

Artist システムの全コンポーネントをアップデートする必要がある点にご注意ください。コンフィギュレーションとパーシャル・ファイルは現在のコンフィギュレーション・バージョンに移動させてください。

1200 シリーズ SmartPanel のネットワーク速度

1200 シリーズ SmartPanel 上のメディア・インターフェースのネットワーク速度を 1 Gbit/s (1 G Full-Duplex) または Auto に設定できます。接続するネットワークがオート・ネゴシエーションをサポートしていない場合は、「1 G Full-Duplex」の固定速度を選択することをお勧めします。

UIC への Director 接続

Director は未設定の SIC に直接接続することができません。コンフィギュレーション・ポートの IP 変更を処理するには SIC を MADI または AES67 として設定する必要があります。

Room Code

Artist-1024 に接続した SmartPanel 上で Room Code を使う場合、1200 シリーズ SmartPanel をファームウェア・バージョン 1.4 またはそれ以上に必ずアップデートしてください。

NMOS ノードのディスクリプション

Artist 8.3 バージョン以降、NMOS ディスクリプション内の MAC アドレスは大文字を使用しています。

推奨 RRCS API

最適化されてより良く機能するシステムを用いるためにも「ConfigurationChange」API と「BufferConfigurationChange」API を使うことをお勧めします。詳しくは『RRCS specifications』を参照してください。

非推奨 RRCS 「ConfigurationChange Port」API のサポート

「ConfigurationChange Port」API は非推奨とされてきています。これは Riedel 社は Artist 8.7 のリリースまではこの API のみをサポートするという事です。そのリリース後はこの API はサポートされなくなります。全インプリメンテーションを新しい「ConfigurationChange PortEx」API に切り替えることをお勧めします。

現在サポートされていないこと

- Artist-32/64/128/1024 上の 1200 シリーズ SmartPanel を使い、Master Control Room をリモート・コントロールすること
- Artist-1024 に接続した 2300 シリーズ SmartPanel を使い、ロジック・ソースを介して Master Control Room をリモート・コントロールすること
- Artist-1024 上の DHCP と DNS
- Artist-1024 のスナップショット
- Artist-1024 に接続した 1200 および 2300 シリーズ SmartPanel の WebUI ライブ・ビューとリモート・コントロールはヴァーチャル・キーをサポートしていません
- パネルが Artist-1024 に接続している場合に SmartPanel GPIO の現在の状態を Director 内に表示すること
- Artist-1024 に接続した 2300 シリーズ SmartPanel での VOX 機能